

Excel 6

すばやく集計対象を切り替える スライサー

「スライサー」を使うと、ピボットテーブルの集計対象がボタンで表示され、ボタンをクリックするだけで集計対象を絞り込んで結果を表示できます。ピボットグラフも連動して切り替わるため視覚的にすばやく結果を確認できます。

FILE OPEN

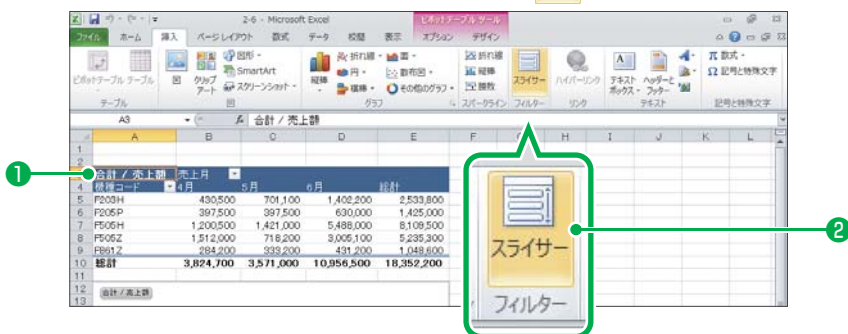
ブック「2-6」を開いておきましょう。

「販売店」のスライサーを挿入し、集計対象を切り替えましょう。

① ピボットテーブル内のセルを選択します。

※ピボットグラフを選択してもかまいません。

② 《挿入》タブ→《フィルター》グループの  (スライサーの挿入) を選択します。



③ 《スライサーの挿入》ダイアログボックスが表示されます。

④ 「販売店」を にします。

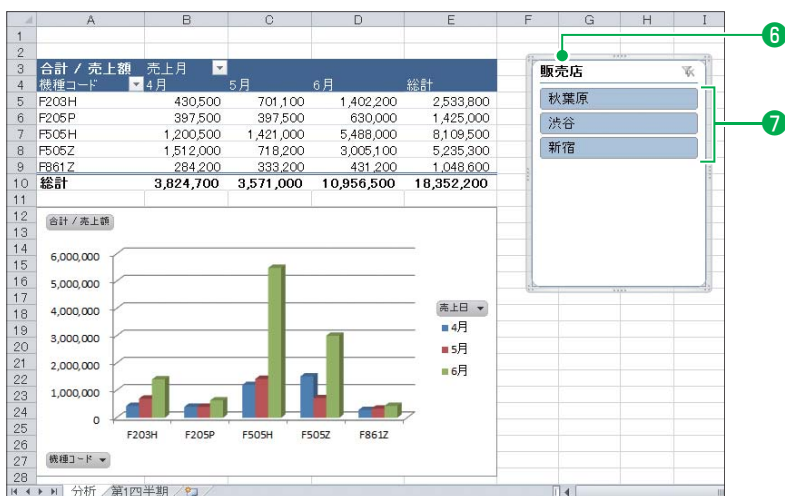
⑤ 《OK》をクリックします。



⑥「販売店」のスライサーが挿入されます。


※ピボットテーブルやピボットグラフと重ならない位置にスライサーを移動しておきましょう。

⑦スライサーの各販売店のボタンをクリックし、集計結果が切り替わることを確認します。




※ブックを保存せずに閉じておきましょう。

POINT フィルターのクリア

スライサーの  (フィルターのクリア) をクリックすると、フィルターが解除されすべてのデータが表示されます。

POINT スライサーの削除

スライサーを削除する方法は、次のとおりです。

◆スライサーを選択 → 

STEP UP スライサーのスタイル

ピボットテーブルやピボットグラフのデザインに合わせて、スライサーのスタイルを変更することができます。

スライサーのスタイルを変更する方法は、次のとおりです。

◆スライサーを選択 → 《オプション》タブ → 《スライサースタイル》グループの  (その他)